

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設理念は職員全員で考え作成している。理念を記載した紙を各職員へ配布し実践に繋がるよう取り組んでいる。			施設理念の作成は今後も職員全員で考え、理念の実践がしっかりと実行されるよう取り組んでいきたい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響も今年5月までは大きく、地域との交流は2か月に一度の運営推進会議くらいであり、日常的に交流ができていたとは言えない。	コロナも終息しつつあるので今後は十分に地域との交流が可能であり、町内会の行事などへもっと参加するように取り組んでほしい。		コロナも5類となったので、今年は町内会行事への参加などを増やしていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では毎回各関係者の皆様から貴重な意見をいただいております、その意見をその後のサービスに活かしている。	きめ細かく申し送りされており職員間で情報共有されている。特にインシデント・アクシデントについては会議の際に報告がきちんとされており、解決・対策をしっかりと行っている。		運営推進会議でいただく意見はとても貴重で参考になるものも多く、今後も様々な意見をもらいより良い施設運営に繋がるよう取り組んでいきたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括や介護保険系の担当者とは密に連絡を取っている。施設の現状報告や相談をするなど良好な協力関係が築けている。	地域包括ケア会議や運営推進会議にて積極的な意見交換ができており、スムーズな対応に繋がっていると評価している。		地域包括支援センターや行政とは今後もしっかりと連携を図り、良好な協力関係が構築・維持できるよう努めていきたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束防止委員会の会議を3か月に一度開催している。会議での内容は全職員へ周知し、身体拘束をしないケアの実践に向け取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も身体拘束防止委員会を中心に施設で身体拘束が起らないようしっかりとした取り組みを継続していきたい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修として年に2回、高齢者虐待防止についての勉強会を実施し虐待の防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も身体拘束と同様に高齢者虐待防止への意識も全職員が高く持つことを勉強会や会議の中で都度伝えていきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度については管理者は理解しているが、その他の職員についての理解度は低い。			全職員が日常生活自立支援事業や成年後見制度に対する理解度が上がるよう育成を行っていきたい。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は家族に対し十分な時間をかけ説明を行っている。疑問点や不安点についても丁寧な対応を心掛けている。			契約時の説明は今後も時間をかけ丁寧に説明をしていきたい。そして本人や家族が納得した上で快く入居してもらえるよう努めていきたい。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者や家族の意向は契約時や面会時、普段の関わりの中で聞き取りを行い、できる限り運営に反映できるようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者・家族の意向の確認・把握は今後もしっかりと行っていきたい。そして利用者・家族の意向が運営にしっかりと反映されるよう取り組んでいきたい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月全体会議を実施し各職員から意見や提案を聞くようにしている。出た意見等は運営に反映するよう取り組んでいる。			各職員からの意見や提案の聞き取りは今後も会議の中や面談でしっかりと行っていきたい。そして職員から出た意見は運営にしっかりと反映させたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年の昇給、夏と冬の賞与の人事考課、適材適所の人員配置等、やりがいや向上心が持てるよう環境の整備に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員がやりがいを感じながら働けるよう、一人一人の努力や実績をしっかりと把握し、給与等処遇の面でしっかりと還元されるよう取り組んでいきたい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修・外部研修にできるだけ多くの職員が参加できるよう取り組んでいる。普段の業務中もベテラン職員が若手職員へ指導できる環境を整備している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修は今後もこれまでと同様に毎月しっかりと実施していきたい。外部研修については参加頻度をもっと多くしていきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同業者との交流はコロナのためあまりできなかったが、地域包括ケア会議へはできるだけ参加するようにしていた。その中で情報交換をし、それをサービスの質の向上に活かすよう努めた。			コロナも5類となり同業者との交流も盛んにできる環境になった。今後はサービスの質向上のため交流活動の場を増やしていきたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者と職員は家族のようなものであるということを各職員が意識し、共に支え合っていける関係性の構築に努めている。			今後も決して職員都合、施設都合とならないよう、利用者本位の介護を実践していきたい。

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や友人、親戚の方など、馴染みの方との関係性が途切れないように電話や手紙でいつでも連絡を取れるよう支援している。	時間設定やカーテン越しでの面会など感染予防対策をしっかりと行い実施されている。知人と面会することで気持ちが現役時代に戻り本人にとって幸福感を高めることに繋がっている。		利用者が大切にしてきた馴染みの物や馴染みの関係が途切れないよう今後も支援を行っていききたい。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人とのコミュニケーションをしっかりと図り、その中で思いや希望を汲み取るようにしている。訴えが難しい利用者に対しては、表情から意向を汲み取ったり、家族からの聞き取りを行うなどして対応している。			利用者の QOL 向上のため、今後も利用者一人一人の希望や意向の把握をしっかりと行っていききたい。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は概ね 3 か月毎に更新、その都度サービス担当者会議を実施し、意見の聞き取りを行い現状に即した計画を作成している。	利用者一人一人の状態をしっかりと把握し利用者本位の介護計画を立てている。十分に職員の力量が発揮されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後もアセスメントやモニタリング、サービス担当者会議をしっかりと行い、現状に即したケアプランを作成し支援を行っていききたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録・利用者個別の申し送りノート・ヒヤリハット報告書、これらを活用し情報の共有に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も職員間での情報共有をしっかりと図り、利用者一人一人に合った介護計画を立てていききたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	柔軟な支援やサービスの提供を実現するため、利用者・家族とのコミュニケーションを密に図り必要なニーズの把握に努めている。	一人一人、きめ細やかに状態の変化を観察し、異常の早期発見に努めている。		今後も利用者や家族とのコミュニケーションを密に図り、その時々ニーズを把握し、柔軟な支援やサービスを実現していききたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村のサービスや介護保険サービスなど、利用者のために使える地域資源の把握に努めている。また、利用者一人一人がその残された能力をできるだけ発揮することができ、安心・安全・安楽に暮らせるようできる限りの支援を行っている。	町内会活動への参加を通して、地域の動向察知で利用者自身の心身リフレッシュに寄与されており、地域資源との協働が成立している。		活用できる地域資源はまだまだあると思うので、その把握に努めていききたい。また、利用者本人が残存能力を十分に発揮しながら安心・安全に暮らせるよう支援を行っていききたい。

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普段は訪問診療という形で利用者の体調管理を行っている。訪問診療では対応しきれない症状については、家族と話し合い適切な病院への受診を支援している。			今後も訪問診療を中心に利用者の体調管理をしっかりと行っていきたい。内科で診られない症状については適切な治療ができるよう支援を行ってきたい。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は病院の関係者と情報交換や相談を頻繁に行い、早期退院に向け支援している。協力医療機関の医師や看護師とは毎日連絡を取り連携を強化している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調管理をしっかりと行いできるだけ入院とならないよう支援していくが、もし入院となった場合は病院の関係者との連携をしっかりと行い早期に退院できるよう支援してきたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合の対応や看取り介護については、契約時に十分な時間をかけ家族へ説明している。また実際に看取り介護開始となる場合には、改めてその詳細を家族へ説明している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	看取り介護については、今後も医療との連携を密に図りながら主治医から家族へしっかりと説明をしてもらい、家族がしっかりと納得された上で開始できるよう取り組んでいきたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時対応や事故発生時対応については、施設内研修や全体会議の中で都度職員へ説明し実践力の向上に努めている。			全ての職員が事故発生時や急変時に迅速かつ的確な対応ができるよう定期的な訓練や勉強会を実施してきたい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害時対応マニュアルはあるが、全ての災害に対し全職員が迅速な対応をできるレベルには達していない。火災に対しては年に2回避難訓練を実施している。地域との協力体制については、5月まではコロナの影響も大きく密な連携が取れていたとは言えない。	避難訓練も毎回、テーマを変えて実施し、参加者全員が真剣に向き合っている。職員の教育などは、コロナの5類移行で今後、取り組んでいってほしい。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後は火災を想定した避難訓練だけではなく、地震や水害などの災害を想定した訓練も実施してきたい。また、地域との協力体制についても今よりもさらに強化をしていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	声掛けや接し方については全体会議や勉強会の中で都度指導し、丁寧な対応が実践できるよう取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者への声掛けや接し方については、全体会議や勉強会、個人面談の中で個々にしっかりと指導を行ってきたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、そ	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人一人の希望や意向、生活ペースを大切にしているが、一部施設や職員側の都合が優先されているときがある。			生活のペースが職員や施設側の都合になってしまっているところがあるので、改善点を洗い出し、もっと利用

		の日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している					者本位の生活を送れるよう施設全体で考えていきたい。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者各自の食べ物の好みを把握しできるだけそれらを提供するようにしている。食事の準備や後片付けは、一緒にできる利用者もいるが、できない利用者が増えてきている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食に対する楽しみというものをもっと大事にし、施設で提供している食事内容の改善を検討したい。また、食事の準備や片付けの部分で利用者と一緒にできることは積極的に実践していきたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取量や水分摂取量はチェック表にて一日のトータルがわかるようにしている。食べる量については利用者一人一人の状態を見ながら調整している。			今後もチェック表を活用し、利用者一人一人の食事・水分摂取量、栄養状態の把握を行っていききたい。糖尿病など水分摂取に気を付けなければならない利用者に対しては、医療との連携をしっかりと図っていききたい。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自力でできる利用者は声掛けにて毎食後歯磨きをしてもらっている。できない利用者は声掛け・介助にて口腔ケアを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯磨きを自力でできる利用者については、今後もできる限り自身の能力で行うよう支援していききたい。自力でできない利用者については、一部介助又は全介助にて口腔内の清潔保持を行っていききたい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人の状態をしっかりと把握し、オムツ使用は最後の手段として考えており、トイレでの排泄をできるだけ長く続けられるよう支援している。便秘の予防については、医療と連携しながらそれぞれに合った対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄については、利用者一人一人の状態をしっかりと把握し、可能な限りトイレでの排泄を続けていけるよう支援していききたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日は毎週火曜日と金曜日ほぼ固定されており、施設側の都合となってしまっている。			現在、入浴回数や入浴日は施設側の都合となっている。今後は業務改善を進め、できるだけ利用者の希望に沿った支援ができるよう改善していききたい。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	寝る時間や起きる時間は利用者 それぞれの生活習慣に応じて支 援している。また、体調が優れな いときや疲れているときは、すぐ に休息できるよう支援を行ってい る。			今後も利用者一人一人の生活習慣 や状態を把握し、休息が必要な方 に対してはしっかりと休むことが できるよう支援をしていきたい。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員全員が薬についてすべて理 解しているというわけではな いが、副作用や用法・用量につ いては把握している。服薬支援 は介助を行い飲み忘れのないよ うに努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の情報を把握しておくことは とても大事なことで、まずは本 人への説明をしっかりと行うこ と、そして職員の薬に関する知 識・理解についても深めていき たい。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人一人の生活歴の中 から趣味などを把握し、施設 の中でも楽しみながら生活で きるよう支援している。また、 レクリエーションや大きな行 事も毎月行い気分転換になる よう支援している。	四季の移り変わりが感じられる ように、利用者と職員が一緒 になって、室内の模様替えを行 っている。		今後もレクリエーションや各種 行事に力を入れ、各利用者の 楽しみごとが増え良い気分転 換になるよう支援を行ってい きたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるよう支援 している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	5月まではコロナの影響が まだ大きく外出はほとんど できていなかった。5月以降 はドライブレクや外食レクに 行く頻度が多くなり外出の 頻度が増えている。	コロナの状況に合わせて、 段階的に行事計画を行ってい る。外出による行動は大きな 楽しみであり、特に買い物・ 外食時の満足度は写真が証 明している。		昨年の5月からはコロナも 5類となったので外出する 頻度は徐々に増えている。春 からは外出レクや散歩など、 外へ出る機会をもっと増や していきたい。
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり 使えるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お金に関しては、「無くした」 「盗まれた」などのトラブル になりかねないので、利用 者本人が所持することは 基本禁止している。			基本的に利用者にお金を 持たせることはしていない が、少額を所持することで 安心する利用者もいる。今 後も「無くなった」「盗ま れた」などの訴えに適切に 対応しながら支援を継続 していきたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自 らが電話をしたり、手紙の やり取りができるよう支援 をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望したときは、家族や 友人などいつでも事務所 内の電話で話せるよう支 援している。手紙につい ても、自力で書けない利 用者は職員が代筆する などの支援を行っている。			家族や友人と電話で話 したり手紙を書く利用者 は複数名いる。もちろん ほとんどの利用者はなん らかの介助を必要として いるので、今後も必要 なサポートをしながら 支援を行っていき たい。

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全館バリアフリー対応となっており、トイレや廊下には手すりを設置し、利用者一人一人が残存能力を活かせるようになっている。共有空間は季節によって飾り物が増え、できるだけ季節感を感じることができるよう工夫をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでと同様に利用者が安全に暮らせるよう建物内部の工夫を行っていききたい。共用空間については、飾りつけなどの工夫を行いながら、利用者ができるだけ季節感を感じることができるよう支援を行っていききたい。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向や希望を尊重し、利用者一人一人ができるだけ限りその人らしい生活ができるよう支援している。			利用者一人一人の思いを大事にし、本人の思いや願い、意向を優先的に考え、寄り添った介護ができるよう努めていききたい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や習慣、友人関係などの情報は、本人や家族からの聞き取りである程度は把握している。また、それらの情報を支援に活かすよう努めている。			今後も利用者各々についての生活歴や生活習慣、友人関係などを把握し、利用者一人一人その方に合った生活を送れるよう支援を行っていききたい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心・安全に過ごすため、職員全員が利用者一人一人の状態を毎日観察し把握している。医療面に関しては訪問診療という形でしっかりと体調管理を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面・医療面については、今後も協力医療機関と連携しながらしっかりと行っていききたい。安全面や環境面についてはアセスメントをしっかりと行い支援を行っていききたい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人の生活習慣を把握し、その人がその人らしく自分のペースで生活できるよう支援を行っている。			施設都合や職員都合にならず、できる限り本人主体の生活ペースで暮らせるよう支援を行っていききたい。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔から大事にしている物や写真などを利用者の自室に置き、いつでも目に入り安心できるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も利用者本人が大事にしている物や馴染みの物などを部屋に置くことで、本人が安心でき良い気分転換となるよう支援を行っていききたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションで外に出ることはあるが、利用者が希望するときに外へ行くという支援はほとんどできていない。	近くに住んでいた方々は外出レクの際、以前住んでいた自宅周辺を懐かしく感じるようになっていた。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントをしっかりと行い利用者各々の残存能力の把握に努め、できることは可能な限り行ってもらい、役割ややりがいを感じてもらえるよう支援している。			アセスメントをしっかりと行い利用者一人一人の状態を把握し、それぞれの利用者がなにができるのかを判断していきたい。その結果、各利用者が役割や楽しみを感じることができるよう支援を行っていきたい。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他利用者や職員との会話が円滑に進むよう会話時のサポートをしている。また、日中はできるだけ活発に活動できるよう、利用者一人一人にできることを行ってもらい活動の場を支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も利用者同士が会話を楽しむことができる環境を整備したり、親交を深めるためのレクリエーション活動に力を入れていきたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人との交流は運営推進会議の場くらいであり、ほとんどできていないというのが現状である。5月までコロナの影響が大きかったことが最大の要因である。	運営推進会議で、地域の方々が参加しており、気軽に声掛けも行い、面識のある利用者は、若かりし頃を回想することが出来ていた。		今後は運営推進会議だけではなく、町内会の行事などへも参加し、地域と交流する機会を増やしていきたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の見守りの中、家庭的な雰囲気の中で毎日を過ごし、安心・安全・安楽な生活を送ることができている。	当地域の施設としての役割は充分果たしており、利用者自身の満足度、利用者のご家族には安心・安全の担保があり、また、施設長をはじめ、スタッフの質の高さも同時に感じている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これからも利用者がこのグループホームで安心して生活することができるよう、職員が一丸となって利用者本位となる統一したケアを実践していきたい。